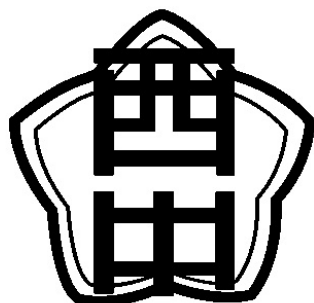


令和5年度 学校教育自己診断報告書

-生徒・保護者・教員の学校教育アンケート回答に基づく-



令和6年3月

河内長野市立西中学校

令和5年度 学校教育自己診断 報告書

河内長野市立長野中学校
校長 上田 孔士

1. はじめに

本校では、生徒、保護者、教職員等の本校の教育に対する幅広い考えを知る目的で、「令和5年度学校教育自己診断」を実施しました。この報告書では生徒、保護者の評価を中心にその結果を考察することで、本校の来年度以降の教育活動に活かしていきたいと考えています。

2. 調査内容

本校の現状や課題等を考慮し、調査項目を設定し、1～3年生徒、保護者、教職員に対してアンケート形式で調査を実施しました。項目は、生徒アンケートでは30項目、保護者アンケートでは30項目について行い、教員アンケートでは51項目について行いました。また、要望等を自由に記述する欄も設けました。令和4年12月上旬より調査を実施し、1月に集計及び考察、以降順次関係者への周知を行い、3月にはホームページに掲載する予定です。

3. 調査結果

1) 生徒調査

○生徒の満足度や達成感が高かった項目（「よくあてはまる」、「ややあてはまる」を合算して80%以上）は以下の通りです。

- 6. 先生は、教え方にいろいろな工夫をしている。 81 %
- 7. 先生は、ICT 機器（電子黒板・パソコン等）を使って工夫した授業をしてくれる。 87 %
- 14. 将来の進路や生き方について学習する機会がある。 82 %
- 18. 体育大会・宿泊行事などの学校行事は楽しみである。 88 %
- 20. 人権や命の大切さ・社会のルールについて学習している。 88 %
- 21. 地震や火災などがおこった場合、どうしたらよいかよく知っている。 83 %
- 23. 学校生活において、生徒自身が改めなければならない課題がある。 89 %

●生徒の満足度や達成感が低かった項目（「よくあてはまる」、「ややあてはまる」を合算して65%以下）は、以下の通りです。

- 2. 担任の先生以外にも気軽に相談することができる先生がいる。 65%
- 3. 授業で自分の考えをまとめたり、発表することがよくある。 57%
- 4. 授業でわからないことについて、先生に質問しやすい。 58%
- 9. 英語や数学の少人数や複数の先生による授業では、発言や質問をしやすく意欲が向上した。 60%
- 19. 生徒会活動や学級活動に積極的に参加・協力している。 51%
- 22. 西中学校の生徒は豊かな心をもちお互いに尊重しあっている。 54%
- 24. 朝読書は集中して取り組み、役立っている。 40%

2) 保護者調査

○保護者の満足度が高かった項目（「よくあてはまる」、「ややあてはまる」を合算して80%以上）は以下の通りです。

- 2. 子どもの学校における生活や家庭外での生活は、だいたい把握している。 87%
- 6. 学校は家庭との連絡・連携を、丁寧にとっている。 80%
- 7. 学校は、教育方針を学校だよりなどを通じて、わかりやすく伝えている。 86%
- 12. 学校は、具体的施策「担任、スクールカウンセラー、生徒支援員などによる相談体制充実といじめ対応と不登校支援」を積極的に推し進めている。 82%
- 14. 学校は、評価や成績の出し方について、十分説明している。 83%
- 15. 英語と数学での少人数指導や複数教員による授業は、生徒の学習にとって効果的である。 86%
- 20. 学校は、子どものことについて気軽に相談でき、適切に応じてくれる。 83%
- 23. 職業体験（2年生）は、生徒にとって有意義な教育活動である。 95%
- 24. 進路に関して、家庭への連絡や適切な情報提供を行っている。 83%
- 26. 地震や台風などの場合の対応について、子どもや保護者に行動マニュアルが知らされている。 86%
- 28. 学校が行う授業参観や懇談会の回数は適切である。 93%
- 30. 西中学校は、いい学校である。 85%

●保護者の満足度や達成感が低かった項目（「よくあてはまる」、「ややあてはまる」を合算して65%以下）は、以下の通りです。

- 3. 授業参観や学級懇談会、PTA活動等にはよく参加している。 60%
- 4. 青少年健全育成会や地域の活動にはよく参加している。 11%
- 8. 学校は、具体的施策「小中一貫教育」を積極的に推し進めている。 58%
- 9. 学校は、具体的施策「自分の考えや意見を英語で伝えられる子どもたちを育てます」を推し進めている。 48%
- 11. 学校は、具体的施策「部活動を通して礼儀を重んじ、人を思いやる心が持てるよう教育をします」を積極的に推し進めている。 50%
- 18. 英語と数学での少人数指導や複数教員による授業は、丁寧に指導でき、生徒はわかりやすいと言っている。 64%
- 27. 学校の施設・設備面での環境整備は十分整っている。 51%

3) 教職員調査

○教員の満足度が高かった項目(「よくあてはまる」、「ややあてはまる」を合算して80%以上)は以下の通りです。

- | | |
|--|------|
| 1. この学校の教育課題について、教職員で日常的によく話し合っている。 | 93% |
| 2. 各年度の教育計画の作成にあたって、教職員でよく話し合っている。 | 86% |
| 4. 教育課程の編成にあたって、学習指導要領の趣旨が生かされている。 | 100% |
| 5. 教育活動全般に渡って検討・反省を行い、次年度の計画に活かしている。 | 93% |
| 8. 各教科において、基礎・基本を明確にし、教材の精選・工夫を行っている。 | 92% |
| 9. 生徒の実態をふまえ、ICT機器を活用するなど、指導方法の工夫・改善を行っている。 | 100% |
| 12. 観点別評価など、評価のあり方について、学年や教科などで話し合う機会がある。 | 100% |
| 13. いじめや校内暴力など生徒の問題行動がおきた時、組織的に対応できる体制が整っている。 | 85% |
| 15. 教育相談体制が整備されており、生徒は学級担任以外の教員とも相談することができる。 | 100% |
| 16. 生徒指導において、生徒の人権を尊重して行っている。 | 100% |
| 17. 生徒指導において、家庭と緊密な連携ができています。 | 100% |
| 18. 生徒指導において、関係諸機関との緊密な連携ができています。 | 100% |
| 19. 校則が、生徒の実態や人権尊重の立場から適切であるかについて、生徒や教職員の間で話し合う機会がある。 | 93% |
| 20. 生徒が望ましい勤労観、職業観を持つことができるよう、各学年に応じた系統的な進路指導を行っている。 | 93% |
| 21. 生徒一人一人が興味・関心、適性に応じて進路選択ができるよう、きめ細かい情報提供を行っている。 | 100% |
| 23. 学校行事が生徒にとって魅力あるものとするために、工夫・改善を行っている。 | 86% |
| 24. 生徒が、生命の大切さや社会のルールを身につけることができるよう、年間指導計画に基づき、道徳の時間を中心に道徳の授業を行っている。 | 100% |
| 26. 人権問題を正しく理解し、差別や偏見のない社会を目指す主体的な生き方につながる学習となるよう工夫している。 | 92% |
| 27. 体罰やセクシュアル・ハラスメントの防止をはじめ、すべての教育活動において、人権尊重に基づく生徒指導が行われている。 | 100% |
| 38. 事故、事件、災害等に対して迅速かつ適切な対処ができるよう、役割分担が明確化されている。 | 92% |
| 39. コンピュータ等の情報機器やICT機器(一人一台端末)が、各教科の授業などで活用されている。 | 92% |
| 40. 教育課題解決のため、校内研修組織が確立し、計画的に研修が実施されている。 | 84% |
| 41. 校内研修は、社会の変化に即した課題も取り入れるなど、教育実践に役立つような内容となっている。 | 86% |
| 43. 個人情報保護の観点から、生徒の個人情報に関する管理システムが確立している。 | 92% |
| 44. 教育活動に必要な情報を積極的に収集し、教職員や生徒・保護者への周知に努めている。 | 93% |
| 45. 保護者や地域の人々と接する機会を多く持っている。 | 86% |
| 47. 小中連携・小中一貫教育を積極的に押し進めている。 | 85% |
| 48. 習熟度別指導は、学力向上や授業改善への取り組みにつながると思う。 | 100% |

●教員の満足度や達成感が低かった項目(「よくあてはまる」、「ややあてはまる」を合算して65%以下)は、以下の通りです。

- | | |
|---|-----|
| 10. 到達度の低い生徒に対する学習指導を、全校的課題として取り組んでいる。 | 64% |
| 22. 生徒が生き生きと学ぶことができる学級づくりのために、学校全体で取り組んでいる。 | 60% |
| 29. 学校運営に、校長のリーダーシップが発揮されている。 | 61% |
| 32. 教職員の適性・能力に応じた校内人事や校務分掌の分担がなされ、教職員が意欲的に取り組める環境にある。 | 53% |
| 33. 各分掌や各学年の連携が円滑に行われ、有機的に機能している。 | 57% |
| 48. 部活動を学校教育の一貫をして意識し、活性化させるよう努めている。 | 42% |

4. 考察及び今後の改善方策

1) 生徒の調査結果から

【成果】

○「6. 先生は、教え方にいろいろな工夫をしている。(81%)」「7. 先生は、ICT 機器(電子黒板・パソコン等)を使って工夫した授業をしてくれる。(87%)」「20. 人権や命の大切さ・社会のルールについて学習している。(88%)」の肯定的な回答が80%を超えており、授業づくりにおいて教員がICTを活用するなどして指導法を工夫しようとしていることが分かります。

○「14. 将来の進路や生き方について学習する機会がある。(82%)」「20. 人権や命の大切さ・社会のルールについて学習している。(88%)」「21. 地震や火災などがおこった場合、どうしたらよいかよく知っている。(83%)」の肯定的な回答が80%を超えており、キャリア学習、防災学習、人権学習、道徳科における学びに対して前向きに取り組む姿勢が身につけていると言えます。

○「18. 体育大会・宿泊行事などの学校行事は楽しみである。(88%)」の肯定的回答が85%を超えており、特別活動における学校行事や宿泊行事により多様な経験をすることが豊かな心の醸成につながると感じとられます。

【課題】

●「担任の先生以外にも気軽に相談することができる先生がいる。(65%)」の肯定的回答が65%と低かったことから、昼食指導を副担任が行うことや放課後学習で担任の先生以外にも質問や相談ができるようにします。

●「3. 授業で自分の考えをまとめたり、発表することがよくある。(57%)」「4. 授業でわからないことについて、先生に質問しやすい。(58%)」「9. 英語や数学の少人数や複数の先生による授業では、発言や質問をしやすく意欲が向上した。(60%)」の肯定的回答が60%以下だったことから、授業づくりにおいて生徒が考えをまとめ、発表する場面を設定することやわからないことを質問しやすい雰囲気を作るようにします。

●「19. 生徒会活動や学級活動に積極的に参加・協力している。(51%)」「22. 西中学校の生徒は豊かな心をもちお互いに尊重しあっている。(54%)」「24. 朝読書は集中して取り組み、役立っている。(40%)」の肯定的な回答が半数程度だったことから、読書活動や仲間づくりや集団作りなどの学級活動・生徒会活動において主体的に取り組む態度を養えるようにします。

2) 保護者の調査結果から

【成果】

○「6. 学校は家庭との連絡・連携を、丁寧にとってている。(80%)」「7. 学校は、教育方針を学校だよりなどを通して、わかりやすく伝えている。(86%)」「20. 学校は、子どものことについて気軽に相談でき、適切に応じてくれる。(83%)」の肯定的回答が80%を超えており、学校と家庭が連絡を取り合い、連携して教育活動を進めていると言えます。

○「14. 学校は、評価や成績の出し方について、十分説明している。(83%)」「24. 進路に関して、家庭への連絡や適切な情報提供を行っている。(83%)」の肯定的回答が80%を超えており、成績評価や進路指導についておおむね家庭の理解を得ていると捉えられます。

○「23. 職業体験(2年生)は、生徒にとって有意義な教育活動である。(95%)」「26. 地震や台風などの場合の対応について、子どもや保護者に行動マニュアルが知らされている。(86%)」「28. 学校が行う授業参観や懇談会の回数は適切である。(93%)」の肯定的回答が85%を超えており、引き続き非常災害時の対応について丁寧に発信するとともに保護者の授業参観や体験型の教育活動も実施していきます。

【課題】

●「4. 青少年健全育成会や地域の活動にはよく参加している。(11%)」「9. 学校は、具体的施策「自分の考えや意見を英語で伝えられる子どもたちを育てます」を押し進めている。(48%)」「11. 学校は、具体的施策「部活動を通して礼儀を重んじ、人を思いやる心が持てるよう教育をします」を積極的に押し進めている。(50%)」「27. 学校の施設・設備面での環境整備は十分整っている。(51%)」の肯定的回答が50%程度であることから、青少年健全育成会の行事や社会教育活動の参加への啓発となる情報発信を行います。また、ペア・グループ学習や発表の活動を取り入れた英語教育、人間性を高める部活動指導の充実、施設の維持管理に注力し、改善していきます。

●「8. 学校は、具体的施策「小中一貫教育」を積極的に押し進めている。(58%)」「18. 英語と数学での少人数指導や複数教員による授業は、丁寧に指導でき、生徒はわかりやすいと言っている。(64%)」の肯定的回答が65%以下であったことから、校区の小中学校が連携し、生徒指導、仲間づくり、人権学習、学習指導、道徳教育などにおいて目指す子ども像に向けた育成となるよう教育活動を進めます。また、少人数授業において説明と演習、交流と発表の時間を設け、理解と思考・表現活動を行います。

3) 教職員の調査結果から

【成果】

○「12. 観点別評価など、評価のあり方について、学年や教科などで話し合う機会がある。(100%)」の回答すべてが肯定的な回答で、校内で日常的な研修を積み重ねていると言えます。

○「9. 生徒の実態をふまえ、ICT 機器を活用するなど、指導方法の工夫・改善を行っている。(100%)」の回答すべてが肯定的な回答で、視覚的にわかりやすい、考えることを促す授業づくりにむけて工夫改善を行っていることがうかがえます。

○「24. 生徒が、生命の大切さや社会のルールを身につけることができるよう、年間指導計画に基づき、道徳の時間を中心に道徳の授業を行っている。」(100%)の回答すべてが肯定的な回答で、道徳の授業を中心に日頃より仲間や自分を大切にすることを醸成し、規範意識を高められるよう教育活動をしていることが分かります。

【課題】

●「48. 部活動を学校教育の一環として意識し、活性化させるよう努めている。(42%)」の肯定的回答が50%に満たなかったことから、校内研修を通して職員の部活動活性化への動機づけを高めていきます。

●「10. 到達度の低い生徒に対する学習指導を、全校的課題として取り組んでいる。(64%)」「22. 生徒が生き生きと学ぶことができる学級づくりのために、学校全体で取り組んでいる。(60%)」「33. 各分掌や各学年の連携が円滑に行われ、有機的に機能している。(57%)」の肯定的回答が65%以下であったことから、学校の組織において分掌や学年ごとで分かれた意識となることのないようチーム学校の意識を根付かせ、協力体制を構築し、学級づくりや学習指導を組織的に取り組めるようにします。

5. おわりに

保護者・生徒・教員の調査より明らかになった教育活動の課題を真摯に受け止め、成果を得た項目については継続して充実させることを、課題のある項目については研究や改善をすすめ、よりよい教育活動をめざします。この調査にご協力いただいた保護者の皆様、生徒の皆さんご協力ありがとうございました。



令和5年度 学校教育自己診断結果の概要

成果	課題とこれからの取り組み
<p style="text-align: center;">生徒</p> <p>○「6. 先生は、教え方にいろいろな工夫をしている。(81%)」「7. 先生は、ICT 機器(電子黒板・パソコン等)を使って工夫した授業をしてくれる。(87%)」「20. 人権や命の大切さ・社会のルールについて学習している。(88%)」の肯定的な回答が80%を超えており、<u>授業づくりにおいて教員が ICT を活用するなどして指導法を工夫しようとしていることが分かります。</u></p> <p>○「14. 将来の進路や生き方について学習する機会がある。(82%)」「20. 人権や命の大切さ・社会のルールについて学習している。(88%)」「21. 地震や火災などがおこった場合、どうしたらよいかよく知っている。(83%)」の肯定的な回答が80%を超えており、<u>キャリア学習、防災学習、人権学習、道徳科における学びに対して前向きに取り組む姿勢が身につけていると言えます。</u></p> <p>○「18. 体育大会・宿泊行事などの学校行事は楽しみである。(88%)」の肯定的回答が85%を超えており、<u>特別活動における学校行事や宿泊行事により多様な経験をすることが豊かな心の醸成につながると感じとられます。</u></p>	<p>●「担任の先生以外にも気軽に相談することができる先生がいる。(65%)」の肯定的回答が65%と低かったことから、<u>昼食指導を副担任が行うことや放課後学習で担任の先生以外にも質問や相談ができるようにします。</u></p> <p>●「3. 授業で自分の考えをまとめたり、発表することがよくある。(57%)」「4. 授業でわからないことについて、先生に質問しやすい。(58%)」「9. 英語や数学の少人数や複数の先生による授業では、発言や質問をしやすく意欲が向上した。(60%)」の肯定的回答が60%以下だったことから、<u>授業づくりにおいて生徒が考えをまとめ、発表する場面を設定することやわからないことを質問しやすい雰囲気を作るようにします。</u></p> <p>●「19. 生徒会活動や学級活動に積極的に参加・協力している。(51%)」「22. 西中学校の生徒は豊かな心をもちお互いに尊重しあっている。(54%)」「24. 朝読書は集中して取り組み、役立っている。(40%)」の肯定的な回答が半数程度だったことから、<u>読書活動や仲間づくりや集団作りなどの学級活動・生徒会活動において主体的に取り組む態度を養えるようにします。</u></p>
<p style="text-align: center;">保護者</p> <p>○「6. 学校は家庭との連絡・連携を、丁寧にとっている。(80%)」「7. 学校は、教育方針を学校だよりなどを通じて、わかりやすく伝えている。(86%)」「20. 学校は、子どものことについて気軽に相談でき、適切に応じてくれる。(83%)」の肯定的回答が80%を超えており、<u>学校と家庭が連絡を取り合い、連携して教育活動を進めていると言えます。</u></p> <p>○「14. 学校は、評価や成績の出し方について、十分説明している。(83%)」「24. 進路に関して、家庭への連絡や適切な情報提供を行っている。(83%)」の肯定的回答が80%を超えており、<u>成績評価や進路指導についておおむね家庭の理解を得ていると捉えられます。</u></p> <p>○「23. 職業体験(2年生)は、生徒にとって有意義な教育活動である。(95%)」「26. 地震や台風などの場合の対応について、子どもや保護者に行動マニュアルが知らされている。(86%)」「28. 学校が行う授業参観や懇談会の回数は適切である。(93%)」の肯定的回答が85%を超えており、<u>引き続き非常災害時の対応について丁寧に発信するとともに保護者の授業参観や体験型の教育活動も実施していきます。</u></p>	<p>●「4. 青少年健全育成会や地域の活動にはよく参加している。(11%)」「9. 学校は、具体的施策「自分の考えや意見を英語で伝えられる子どもたちを育てます」を推し進めている。(48%)」「11. 学校は、具体的施策「部活動を通して礼儀を重んじ、人を思いやる心が持てるよう教育をします」を積極的に推し進めている。(50%)」「27. 学校の施設・設備面での環境整備は十分整っている。(51%)」の肯定的回答が50%程度であることから、<u>青少年健全育成会の行事や社会教育活動の参加への啓発となる情報発信を行います。また、ペア・グループ学習や発表の活動を取り入れた英語教育、人間性を高める部活動指導の充実、施設の維持管理に注力し、改善していきます。</u></p> <p>●「8. 学校は、具体的施策「小中一貫教育」を積極的に推し進めている。(58%)」「18. 英語と数学での少人数指導や複数教員による授業は、丁寧に指導でき、生徒はわかりやすいと言っている。(64%)」の肯定的回答が65%以下であったことから、<u>校区の小中学校が連携し、生徒指導、仲間づくり、人権学習、学習指導、道徳教育などにおいて目指す子ども像に向けた育成となるよう教育活動を進めます。また、少人数授業において説明と演習、交流と発表の時間を設け、理解と思考・表現活動を行います。</u></p>
<p style="text-align: center;">教員</p> <p>○「12. 観点別評価など、評価のあり方について、学年や教科などで話し合う機会がある。(100%)」の回答すべてが肯定的な回答で、<u>校内で日常的な研修を積み重ねていると言えます。</u></p> <p>○「9. 生徒の実態をふまえ、ICT 機器を活用するなど、指導方法の工夫・改善を行っている。(100%)」の回答すべてが肯定的な回答で、<u>視覚的にわかりやすい、考えることを促す授業づくりにむけて工夫改善を行っていることがうかがえます。</u></p> <p>○「24. 生徒が、生命の大切さや社会のルールを身につけることができるよう、年間指導計画に基づき、道徳の時間を中心に道徳の授業を行っている。」(100%)の回答すべてが肯定的な回答で、<u>道徳の授業を中心に日頃より仲間や自分を大切にすることを醸成し、規範意識を高められるよう教育活動をしていることが分かります。</u></p>	<p>●「48. 部活動を学校教育の一環として意識し、活性化させるよう努めている。(42%)」の肯定的回答が50%に満たなかったことから、<u>校内研修を通して職員の部活動活性化への動機づけを高めていきます。</u></p> <p>●「10. 到達度の低い生徒に対する学習指導を、全校的課題として取り組んでいる。(64%)」「22. 生徒が生き生きと学ぶことができる学級づくりのために、学校全体で取り組んでいる。(60%)」「33. 各分掌や各学年の連携が円滑に行われ、有機的に機能している。(57%)」の肯定的回答が65%以下であったことから、<u>学校の組織において分掌や学年ごとで分かれた意識となることのないようチーム学校の意識を根付かせ、協働体制を構築し、学級づくりや学習指導を組織的に取り組めるようにします。</u></p>

令和5年度 学校教育自己診断集計結果(生徒アンケート)

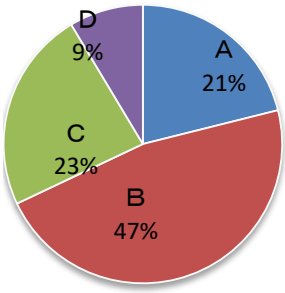
A:よくあてはまる

B:ややあてはまる

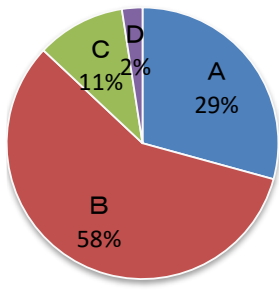
C:あまりあてはまらない

D:まったくあてはまらない

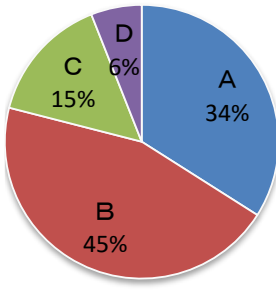
学校へ行くのが楽しい



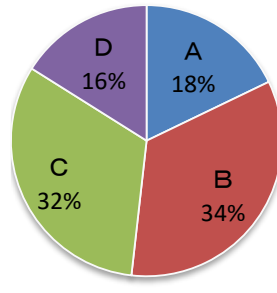
先生は、ICT機器(電子黒板・パソコン等)を使って工夫した授業をしてくれる。



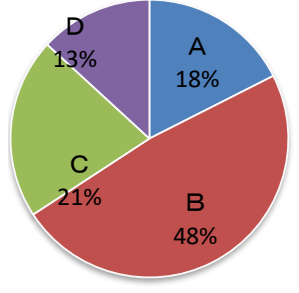
先生は、生徒一人ひとりを大切にしてくれる。



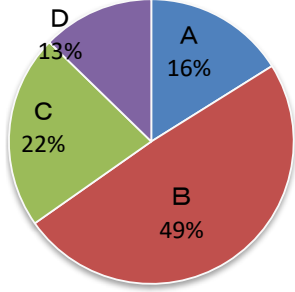
生徒会活動や学級活動に積極的に参加・協力している。



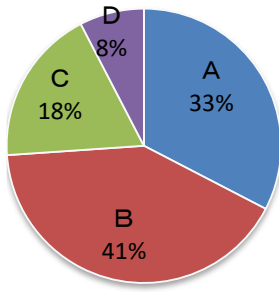
西中学校が好きです。



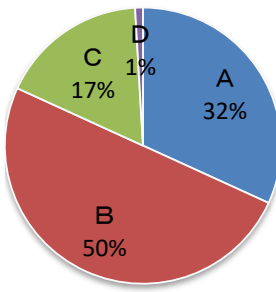
担任の先生以外にも気軽に相談することができる先生がいる。



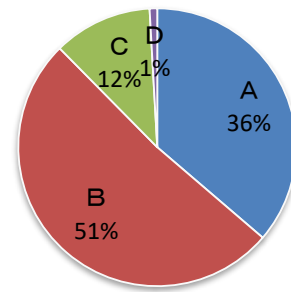
英語や数学の少人数や複数の先生による授業は、理解しやすい。



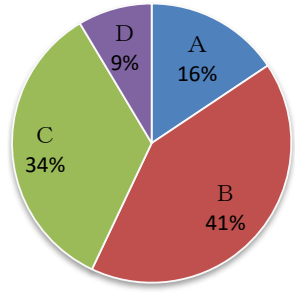
将来の進路や生き方について学習する機会がある。



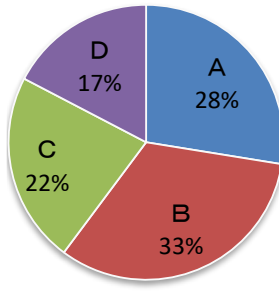
人権や命の大切さ・社会のルールについて学習している。



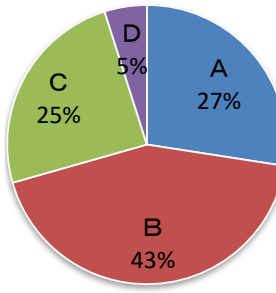
授業で自分の考えをまとめたり、発表することがよくある。



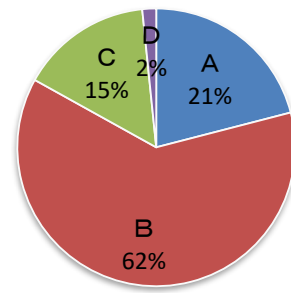
英語や数学の少人数や複数の先生による授業では、発言や質問をしやすく意欲が向上した。



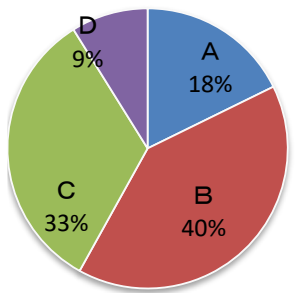
学校は進路についての情報をよく知らせてくれる。



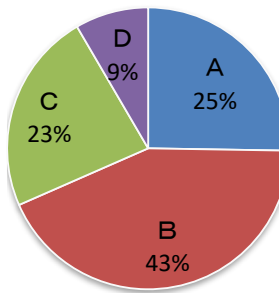
地震や火災などがおこった場合、どうしたらよいかよく知っている。



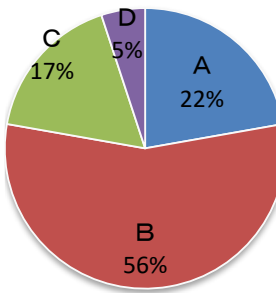
授業でわからないことについて、先生に質問しやすい。



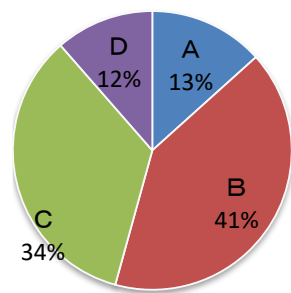
英語や数学の少人数や複数の先生による授業では、あきらめずに問題に取り組むようになった。



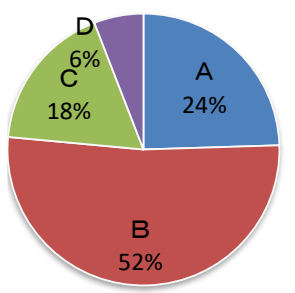
授業やホームルームなどで、人の生きかたや豊かな心のあり方について考える機会がある。



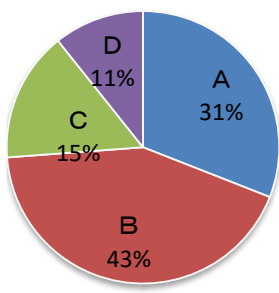
西中学校の生徒は豊かな心をもちお互いに尊重しあっている。



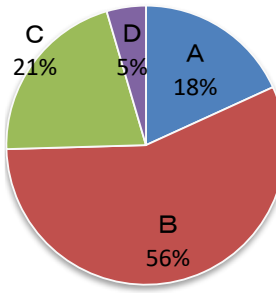
先生は、学習で自分で努力したことを認めてくれる。



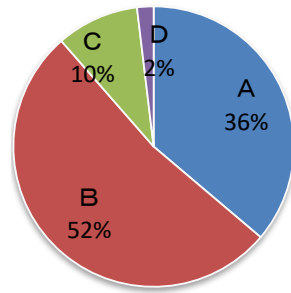
先生は他の子に知られたくない秘密を守ってくれる。



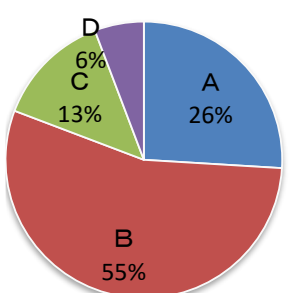
学級活動では意見を発表する機会がある。



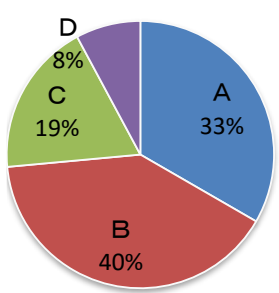
学校生活において、生徒自身が改めなければならない課題がある。



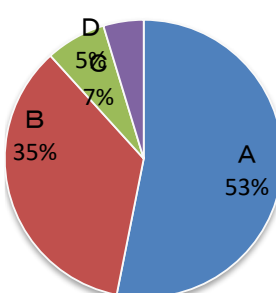
先生は、教え方にいろいろな工夫をしている。



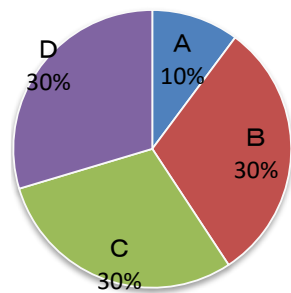
先生は、私たちが困っていることについて親身になって相談に乗ってくれる。



体育大会・宿泊行事などの学校行事は楽しみである。



朝読書は集中して取り組み、役立っている。



令和5年度 学校教育自己診断集計結果(保護者アンケート)

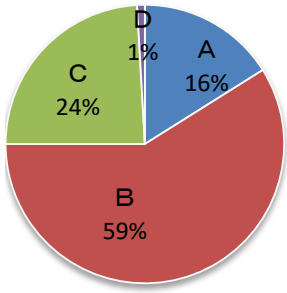
A:よくあてはまる

B:ややあてはまる

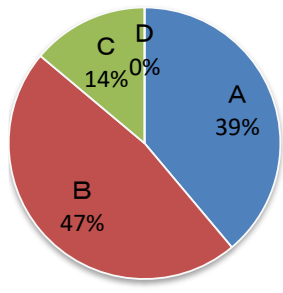
C:あまりあてはまらない

D:まったくあてはまらない

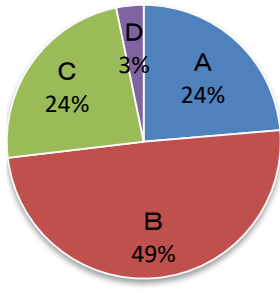
学校の教育活動は、ほぼ把握している。



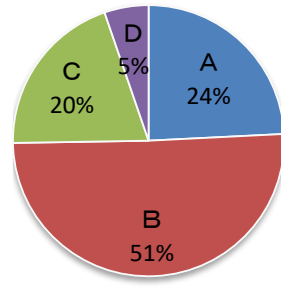
学校は、教育方針を学校だけやなどを通じて、わかりやすく伝えている。



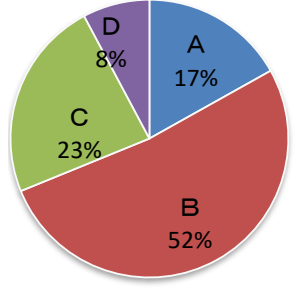
学校は保護者・地域の願いに応えている。



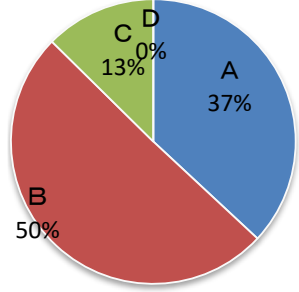
学校の生活指導の方針に共感できる。



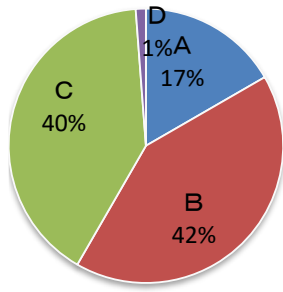
生徒会活動は活発である。



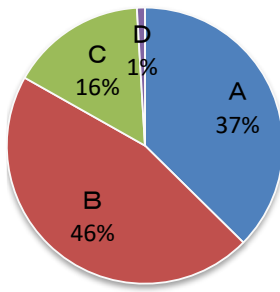
子どもの学校における生活や家庭外での生活は、だいたい把握している。



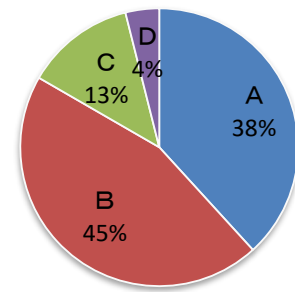
学校は、具体的施策「小中一貫教育」を積極的に推進している。



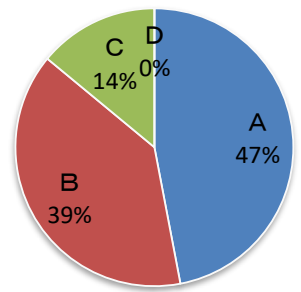
学校は、評価や成績の出し方について、十分説明している。



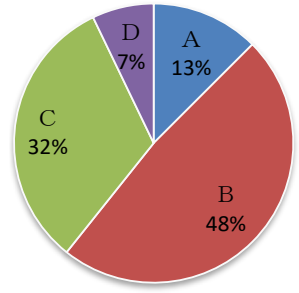
学校は、子どものことについて気軽に相談でき、適切に応じてくれる。



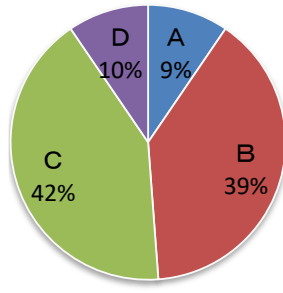
地震や台風などの場合の対応について、子どもや保護者に行動マニュアルが知らされている。



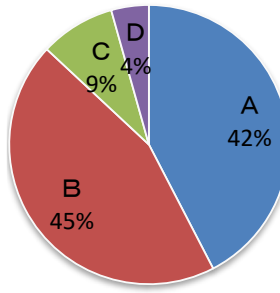
授業参観や学級懇談会、PTA活動等にはよく参加している。



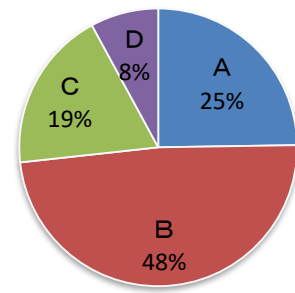
学校は、具体的施策「自分の考えや意見を英語で伝えられる子どもたちを育てます」を推進している。



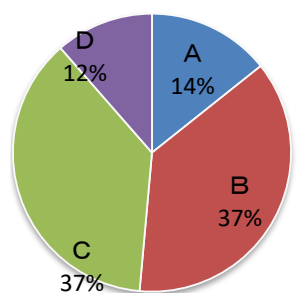
英語と数学での少人数指導や複数教員による授業は、生徒の学習にとって効果的である。



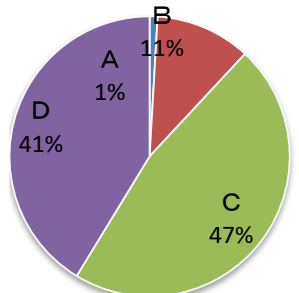
先生はすべての教育活動において、子どもの人権を尊重する姿勢で指導にあたっている。



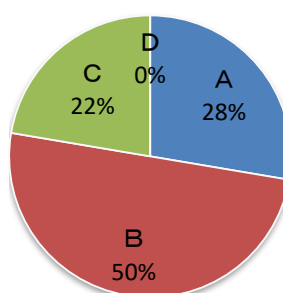
学校の施設・設備面での環境整備は十分整っている。



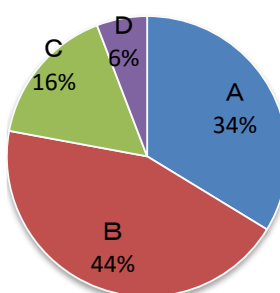
青少年健全育成会や地域の活動にはよく参加している。



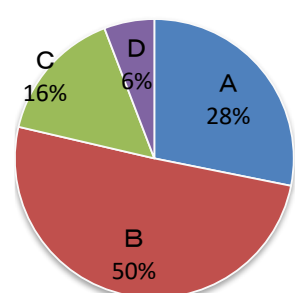
学校は、具体的施策「学校運営協議会を運営し、学校、保護者、地域で子どもを育てる」を積極的に推進している。



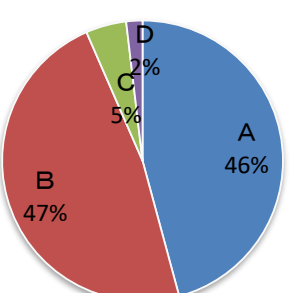
英語と数学での少人数指導は、生徒の学習ペースに合っている。



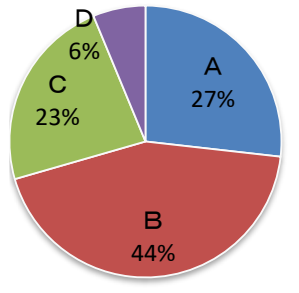
先生は、子どもを理解しながら、まちがった行動は適切に指導してくれる。



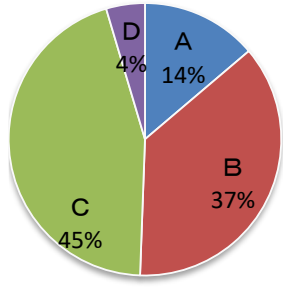
学校が行う授業参観や懇談会の回数は適切である。



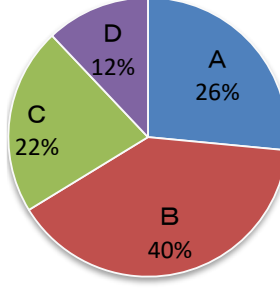
学校便りや学年通信・学級通信など、学校からの通信等はよく見ている。



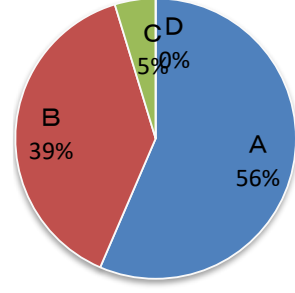
学校は、具体的施策「部活動を通して礼儀を重んじ、人を思いやる心が持てるよう教育をします」を積極的に推進している。



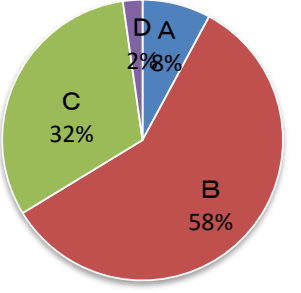
英語と数学での少人数指導や複数教員による授業により、生徒の学習意欲が向上している。



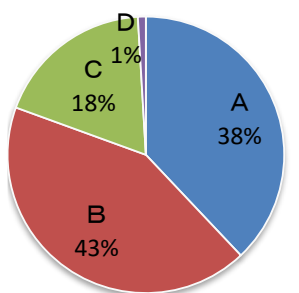
職業体験(2年生)は、生徒にとって有意義な教育活動である。



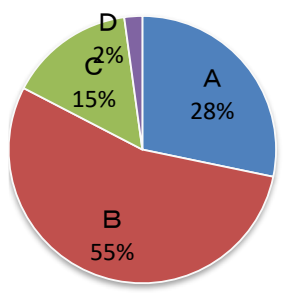
学校ではPTA活動が活発である。



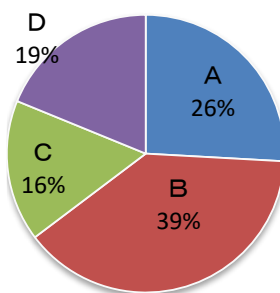
学校は家庭との連絡・連携を、丁寧に行っている。



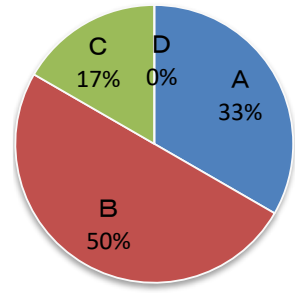
学校は、具体的施策「担任、スクールカウンセラー、生徒支援員などによる相談体制充実といじめ対応と不登校支援」を積極的に推進している。



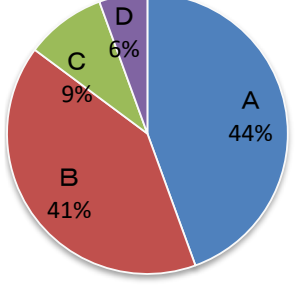
英語と数学での少人数指導や複数教員による授業は、丁寧に指導でき、生徒はわかりやすいと言っている。



進路に関して、家庭への連絡や適切な情報提供を行っている。



西中学校は、いい学校である。



令和5年度 学校教育自己診断集計結果(教員アンケート)

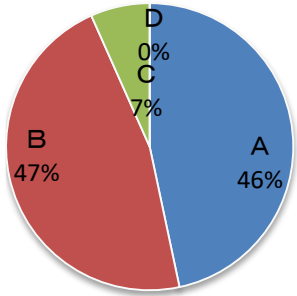
A:よくあてはまる

B:ややあてはまる

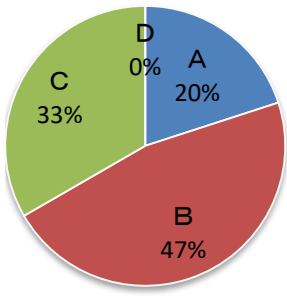
C:あまりあてはまらない

D:まったくあてはまらない

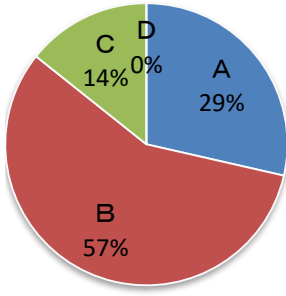
1. この学校の教育課題について、教職員で日常的によく話し合っている。



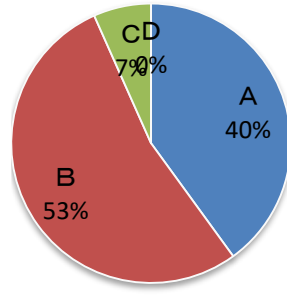
7. 年間の学習指導計画について、教科でよく話し合っている。



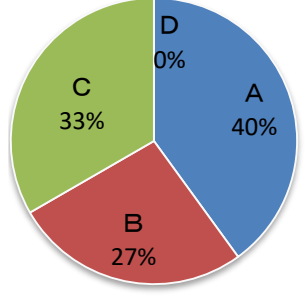
13. いじめや校内暴力など生徒の問題行動がおきた時、組織的に対応できる体制が整っている。



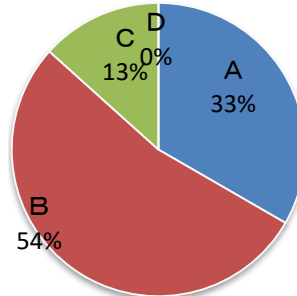
19. 校則が、生徒の実態や人権尊重の立場から適切であるかについて、生徒や教職員の間で話し合う機会がある。



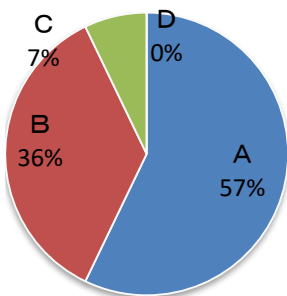
25. 人権尊重に関する様々な課題や指導方法について、全教職員で話し合っている。



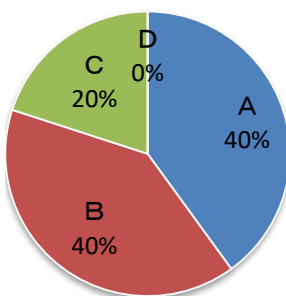
2. 各年度の教育計画の作成にあたって、教職員でよく話し合っている。



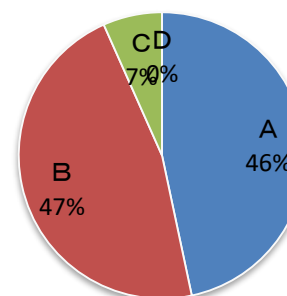
8. 各教科において、基礎・基本を明確にし、教材の精選・工夫を行っている。



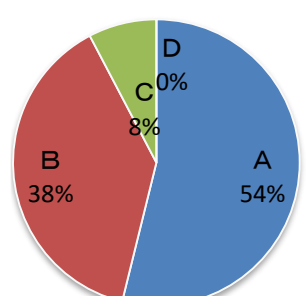
14. 様々な問題行動の防止のため、早期指導に学校全体で心がけている。



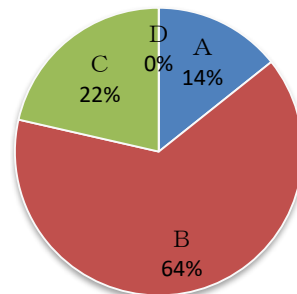
20. 生徒が望ましい勤労観、職業観を持つことができるよう、各学年に応じた系統的な進路指導を行っている。



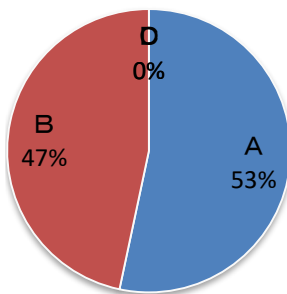
26. 人権問題を正しく理解し、差別や偏見のない社会を目指す主体的な生き方につながる学習となるよう工夫している。



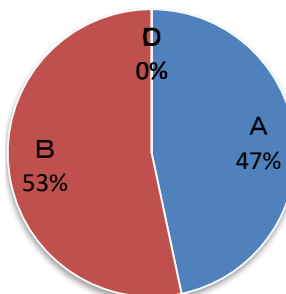
3. この学校は、生徒や保護者などのニーズに合った特色ある教育活動がなされている。



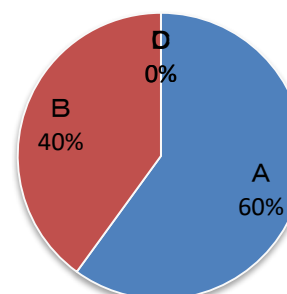
9. 生徒の実態をふまえ、ICT機器を活用するなど、指導方法の工夫・改善を行っている。



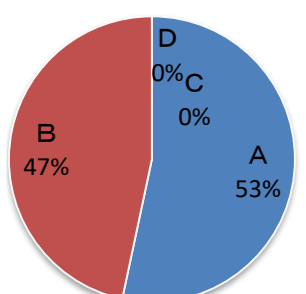
15. 教育相談体制が整備されており、生徒は学級担任以外の教員とも相談することができる。



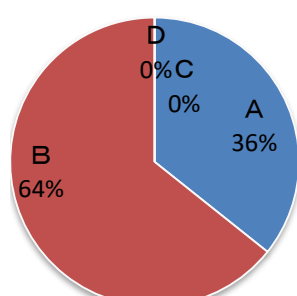
21. 生徒一人一人が興味・関心、適性に応じて進路選択ができるよう、きめ細かい情報提供を行っている。



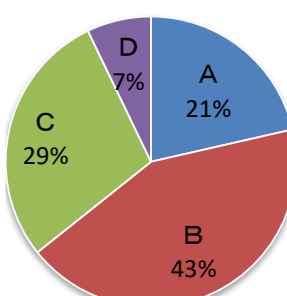
27. 体罰やセクシュアル・ハラスメントの防止をはじめ、すべての教育活動において、人権尊重に基づく生徒指導が行われている。



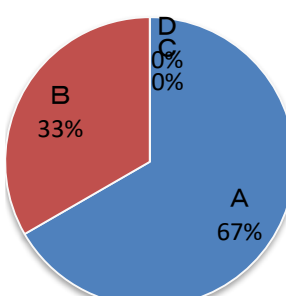
4. 教育課程の編成にあたって、学習指導要領の趣旨が生かされている。



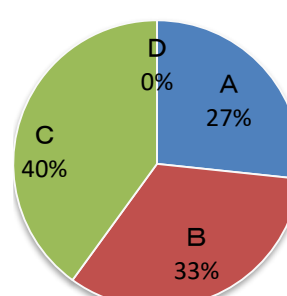
10. 到達度の低い生徒に対する学習指導を、全校的課題として取り組んでいる。



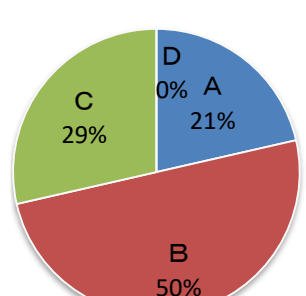
16. 生徒指導において、生徒の人権を尊重して行っている。



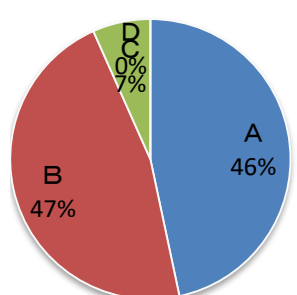
22. 生徒が生き生きと学ぶことができる学級づくりのために、学校全体で取り組んでいる。



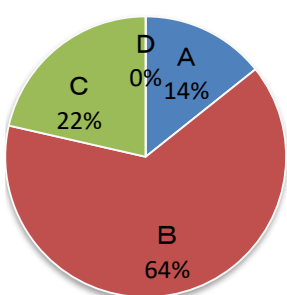
28. 校長は自らの教育理念や学校運営についての考え方を明らかにしている。



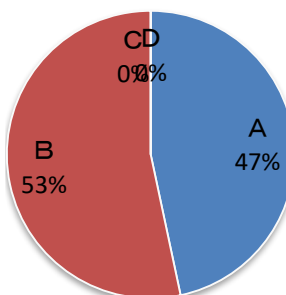
5. 教育活動全般に渡って検討・反省を行い、次年度の計画に活かしている。



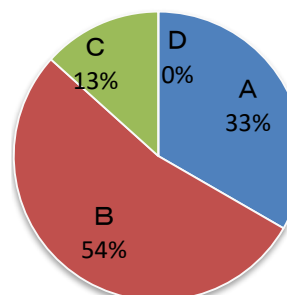
11. 学習意欲が高い生徒に対する学習指導を、個に応じた視点で工夫して行っている。



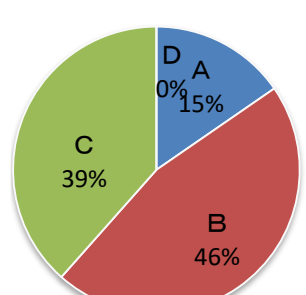
17. 生徒指導において、家庭と緊密な連携ができています。



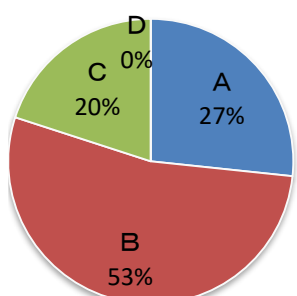
23. 学校行事が生徒にとって魅力あるものとするために、工夫・改善を行っている。



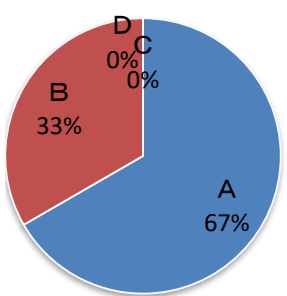
29. 学校運営に、校長のリーダーシップが発揮されている。



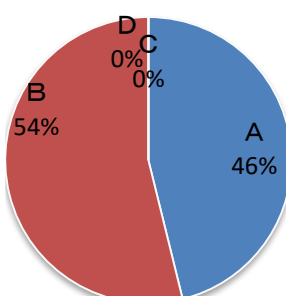
6. 学校は、教育活動全般について、生徒や保護者の願いによく応えている。



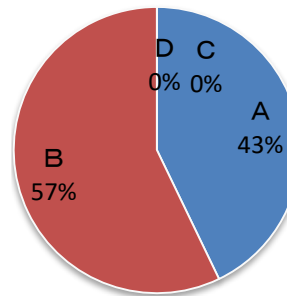
12. 観点別評価など、評価のあり方について、学年や教科などで話し合う機会がある。



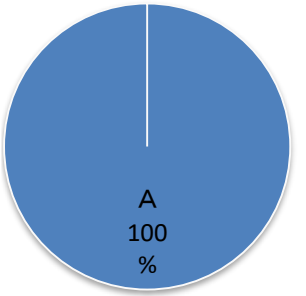
18. 生徒指導において、関係諸機関との緊密な連携ができています。



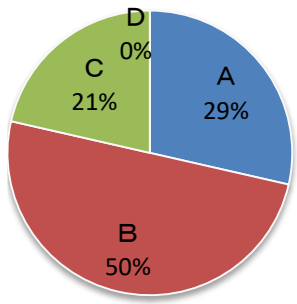
24. 生徒が、生命の大切さや社会のルールを身につけることができるよう、年間指導計画に基づき、道徳の時間を中心に道徳の授業を行っている。



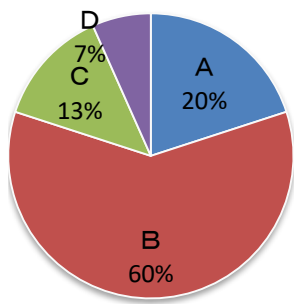
30. 学校運営に、教職員の意見が反映されている。



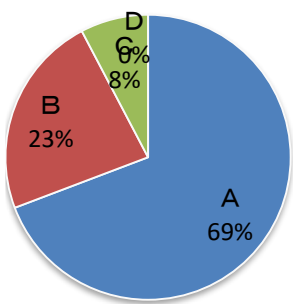
31. 教職員の適性・能力に応じた校内人事や校務分掌の分担がなされ、教職員が意欲的に取り組める環境にある。



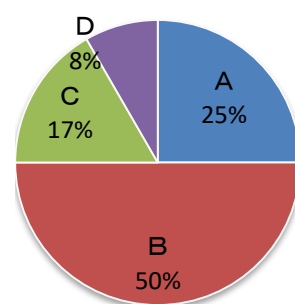
37. この職場においては、教職員の服務規律への自覚が高い。



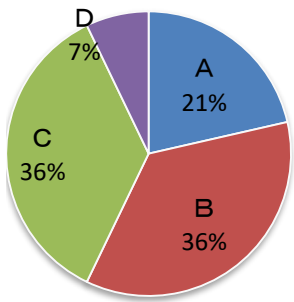
43. 個人情報保護の観点から、生徒の個人情報に関する管理システムが確立している。



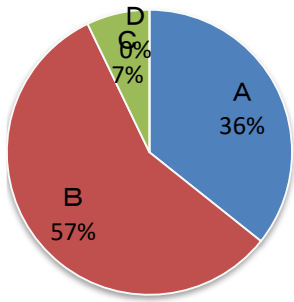
49. 西中学校は好きである。



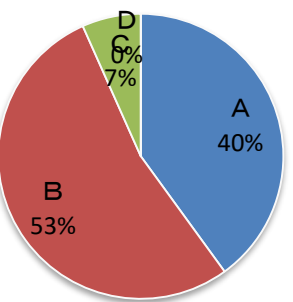
32. 各分掌や各学年の連携が円滑に行われ、有機的に機能している。



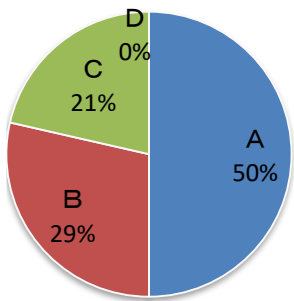
38. 事故、事件、災害等に対して迅速かつ適切な対処ができるよう、役割分担が明確化されている。



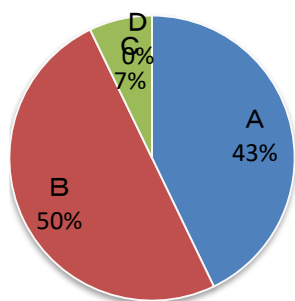
44. 教育活動に必要な情報を積極的に収集し、教職員や生徒・保護者への周知に努めている。



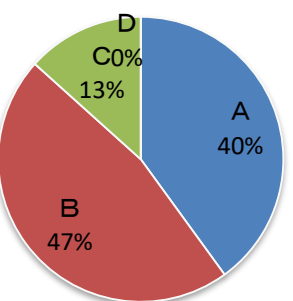
33. 職員会議をはじめ学年会議や教科会議が、情報交換の場として有効に機能している。



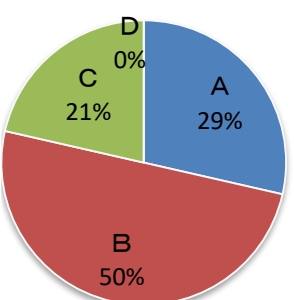
39. コンピュータ等の情報機器やICT機器（一人一台端末）が、各教科の授業などで活用されている。



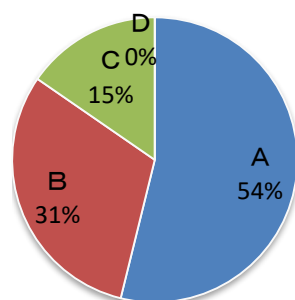
45. 保護者や地域の人々と接する機会を多く持っている。



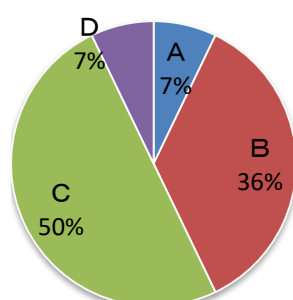
34. 会議での討議により教育活動や学校運営の充実に生かされている。



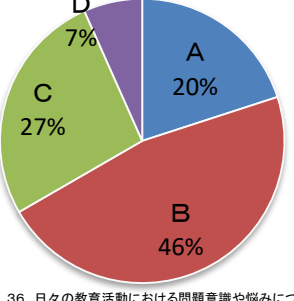
40. 教育課題解決のため、校内研修組織が確立し、計画的に研修が実施されている。



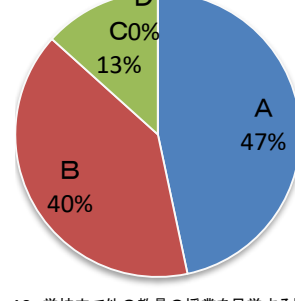
46. 部活動を学校教育の一貫として意識し、活性化させるよう努めている。



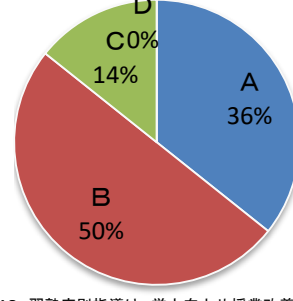
35. 教職員の相互理解が十分になされ、信頼関係に基づいて教育活動が行われている。



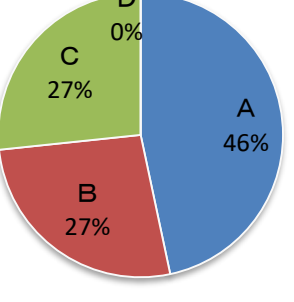
41. 校内研修は、社会の変化に即した課題も取り入れるなど、教育実践に役立つような内容となっている。



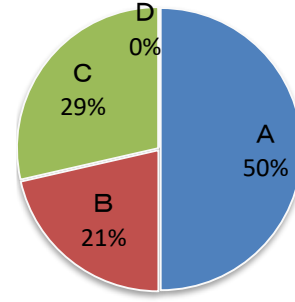
47. 小中連携・小中一貫教育を積極的に推進している。



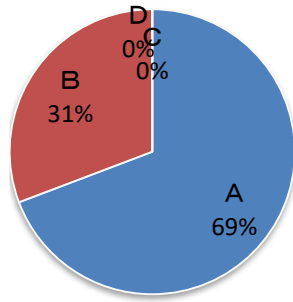
36. 日々の教育活動における問題意識や悩みについて、気軽に相談しあえるような職場の人間関係ができていく。



42. 学校内で他の教員の授業を見学する機会がよくある。



48. 習熟度別指導は、学力向上や授業改善への取り組みにつながると思う。



学校教育自己診断アンケート(生徒)経年比較

* 質問への肯定的な回答の割合を記載しています。

番号	質問内容	R3	R4	R5
1	学校へ行くのが楽しい	86	79	68
2	担任の先生以外にも気軽に相談することができる先生がいる。	71	69	65
3	授業で自分の考えをまとめたり、発表することがよくある。	73	75	57
4	授業でわからないことについて、先生に質問しやすい。	81	71	58
5	先生は、学習で自分で努力したことを認めてくれる。	91	86	76
6	先生は、教え方にいろいろな工夫をしている。	94	85	81
7	先生は、ICT機器(電子黒板・パソコン等)を使って工夫した授業をしてくれる。	81	93	87
8	英語や数学の少人数や複数の先生による授業は、理解しやすい。	78	84	74
9	英語や数学の少人数や複数の先生による授業では、発言や質問をしやすく意欲が向上した。	85	69	60
10	英語や数学の少人数や複数の先生による授業では、あきらめずに問題に取り組むようになった。	90	73	68
11	先生は他の子に知られたくない秘密を守ってくれる。	90	86	74
12	先生は、私たちが困っていることについて親身になって相談に乗ってくれる。	90	87	74
13	先生は、生徒一人ひとりを大切にしてくれる。	-	-	79
14	将来の進路や生き方について学習する機会がある。	93	90	82
15	学校は進路についての情報をよく知らせてくれる。	82	76	71
16	授業やホームルームなどで、人の生きかたや豊かな心のあり方について考える機会がある。	85	80	78
17	学級活動では意見を発表する機会がある。	81	85	75
18	体育大会・宿泊行事などの学校行事は楽しみである。	91	92	88
19	生徒会活動や学級活動に積極的に参加・協力している。	73	69	52
20	人権や命の大切さ・社会のルールについて学習している。	99	95	88
21	地震や火災などが起こった場合、どうしたらよいかよく知っている。	89	85	83
22	西中学校の生徒は豊かな心を持ちお互いに尊重しあっている。	81	78	54
23	学校生活において、生徒自身が改めなければならない課題がある。	92	97	89
24	朝読書は集中して取り組み、役立っている。	83	76	41
25	西中学校が好きです。	80	71	66

学校教育自己診断アンケート(保護者)経年比較

* 質問への肯定的な回答の割合を記載しています。

番号	質問内容	R3	R4	R5
1	学校の教育活動は、ほぼ把握している。	79	74	75
2	子どもの学校における生活や家庭外での生活は、だいたい把握している。	85	88	87
3	授業参観や学級懇談会、PTA活動等にはよく参加している。	48	47	61
4	青少年健全育成会や地域の活動にはよく参加している。	46	13	12
5	学校便りや学年通信・学級通信など、学校からの通信等はよく見ている。	85	75	71
6	学校は家庭との連絡・連携を、丁寧にとっている。	81	85	81
7	学校は、教育方針を学校だよりなどを通じて、わかりやすく伝えている。	88	89	86
8	学校は、具体的施策「小中一貫教育」を積極的に推し進めている。	55	51	58
9	学校は、具体的施策「自分の考えや意見を英語で伝えられる子どもたちを育てます」を推し進めている。	50	41	49
10	学校は、具体的施策「学校運営協議会を運営し、学校、保護者、地域で子どもを育てる」を積極的に推し進めている。	65	68	78
11	学校は、具体的施策「部活動を通して礼儀を重んじ、人を思いやる心が持てるよう教育をします」を積極的に推し進めている。	38	40	51
12	学校は、具体的施策「担任、スクールカウンセラー、生徒支援員などによる相談体制充実といじめ対応と不登校支援」を積極的に推し進めている。	79	74	83
13	学校は保護者・地域の願いに応えている。	78	72	73
14	学校は、評価や成績の出し方について、十分説明している。	89	81	83
15	英語と数学での少人数指導や複数教員による授業は、生徒の学習にとって効果的である。	87	88	87
16	英語と数学での少人数指導は、生徒の学習ペースに合っている。	80	83	78
17	英語と数学での少人数指導や複数教員による授業により、生徒の学習意欲が向上している。	77	64	66
18	英語と数学での少人数指導や複数教員による授業は、丁寧に指導でき、生徒はわかりやすいと言っている。	72	62	65
19	学校の生活指導の方針に共感できる。	80	74	75
20	学校は、子どものことについて気軽に相談でき、適切に応じてくれる。	83	76	83
21	先生はすべての教育活動において、子どもの人権を尊重する姿勢で指導にあたっている。	81	73	73
22	先生は、子どもを理解しながら、まちがった行動は適切に指導してくれる。	81	76	79
23	職業体験(2年生)は、生徒にとって有意義な教育活動である。	83	78	95
24	進路に関して、家庭への連絡や適切な情報提供を行っている。	72	64	83
25	生徒会活動は活発である。	69	69	69
26	地震や台風などの場合の対応について、子どもや保護者に行動マニュアルが知らされている。	88	94	86
27	学校の施設・設備面での環境整備は十分整っている。	75	72	51
28	学校が行う授業参観や懇談会の回数は適切である。	81	91	93
29	学校ではPTA活動が活発である。	63	64	66
30	西中学校は、いい学校である。	88	89	85